

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	建築物等エコ化可能性評価促進事業	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部署庁	環境省	担当課室	総合環境政策局環境経済課	環境経済課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計	上位政策	環境・経済・社会の統合的向上			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	更新期を迎える集合住宅やオフィスビルの個々の事例について、①元の集合住宅・オフィスビルを解体して新しい建築物を建築するスクラップアンドビルド②元の集合住宅・オフィスビルの構造を活用して改築・改修を行うリニューアルのどちらがライフサイクル全体からみて環境負荷が低くなるか試算することを可能とする手法の開発を行うことを目的としている。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	更新期を迎える集合住宅やオフィスビルについて、生産から廃棄までの付加的環境負荷及び追加投資について、当該事業計画による集合住宅・オフィスビルの予想残存活用期間やエネルギー使用量の見込みを簡便に評価する手法を確立するため、文献調査、20年度に作成した評価手法の素案を使用したケーススタディ及び有識者による検討会を開催する。					
実施状況	各種リニューアル手法等を含む具体的事例に関する文献調査を実施。 1月に検討会を開催。 既存ビルを使用し、評価手法の素案を使用したケース・スタディを実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	8	8	7	0
	執行額	0	8	8		
	執行率	0	100.00%	100.00%		
	総事業費(執行ベース)	0	8	8		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	文献調査による調査結果の報告や、検討会開催等に当たり担当官と密に連絡を取っており、事業実施現場の状況やその内容、深度等は適宜適切に把握できていると考えている。				
	見直しの 余地	本事業では高い質を確保するために企画競争方式を採用しており、引き続き効率的、効果的な事業実施に努めていく。				
予算 監視 の・ 所 効 見 率	一部改善 (継続して実施していることから、予算規模を見直すべき。)					
補 記	本事業においては、地方公共団体からも事例収集を行っており(横浜市、福岡市等)、事例提供のあった公共団体に対しては、当該事業の内容を共有できていると考えている。検討会の成果については、手法の開発状況に応じて地方公共団体とも共有していくこととしている。					

環境省
8百万円



【企画競争】

A.(株)石本建築事務所
8百万円

建築物等エコ化可能性評価
に係る文献調査・有識者に
よる検討会開催等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.(株)石本建築事務所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	建築物等エコ化可能性評価に係る調査・検討	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0